

# レジメン名称(ビダーザ(皮下注または点滴静注) q4w) 骨髄異形成症候群

ID \_\_\_\_\_ 患者氏名 \_\_\_\_\_ 様 (性別 \_\_\_\_\_ )

身長 \_\_\_\_\_ cm 体重 \_\_\_\_\_ kg 年齢 \_\_\_\_\_ 歳 体表面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

HBs 抗原 (+ -) HBc 抗原 (+ -) HCV 抗体 (+ -)

薬剤	投与量	投与日 Day 1.....8.....29
ビダーザ	75 mg/m <sup>2</sup>	↓↓↓↓↓↓↓ day1~7 投与

## 注意事項

原則として皮下投与を行うこと。出血傾向等により皮下投与が困難な場合は、点滴静注を行うこと

ビダーザの希釈後の安定性より、調製終了後 60 分以内に投与終了すること。  
そのため投与開始時間について、薬剤部、投与担当部署の間で時間調整して下さい

皮下投与の場合：1~7 日目	
1	ナゼア 1錠 内服
2	ナゼア内服 30 分後に  ビダーザ _____ mg, 注射用水適量 注射用水で溶解：1V あたり 4mL で懸濁 (25mg/mL)  投与直前に注射用シリンジ内の懸濁液を、両掌に挟んで激しく転がすなどの方法で再度均一に懸濁させること 投与量に応じて、複数箇所に分けて投与すること (臨床試験では 4mL を越える場合には分割している)

点滴静注の場合：1~7 日目	
1	生食 100mL ケモセーフロックの点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒 (チェンバー) を 3/4 程度満たす
2	グラニセトロン (3mg/100mL) 1V 30 分かけて点滴、メインルートから投与 終了後、メインルートを止める
3	ビダーザ _____ mg, 注射用水適量、生食 50mL 10 分で、ケモセーフロックのルートより投与 注射用水で溶解：1V あたり 10mL で溶解 (10mg/mL)
4	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄